

令和6年度  
金剛寺小学校 研究推進計画

自律し、協働しながら学習を進めることができる児童の育成  
～マイプラン学習を充実させるための一斉指導の工夫を通して～

## 1 研究主題設定の理由

本校では昨年度、研究主題を「自律し、協働しながら学習を進めることができる児童の育成」、副主題を「マイプラン学習を取り入れた授業の工夫を通して」として研究を進めた。個の見取りを適切に行うことと支援の幅を広げるために特別支援教育の視点を指導者が深めることと、教科の見方・考え方を適切に児童にふれさせるために必要な準備を指導者が適切に行うことで、児童が正しく自分を理解し、自信をもって、学習に主体的に取り組む力を育成することに取り組んだ。その結果、「自分で考えて、自分のペースで学習を進めることができたか。」98.5%、「学習するときは、友達と協力しながら学習を進めることができたか。」95.6%、「学びを進める時、いつも何ができるようになるとういかわかっている。」93.3%と児童アンケートの結果から、多くの児童が、何ができるようになるとういかを自分で考えて、自分のペースで友達と協力しながら学びを進めることができるようになったことが明らかになった。

しかし、年間を通した実践の中で次の2点が課題となった。1点目は、自由進度学習やマイプラン学習を行うときに必要な調べ方やまとめ方、他者との話し合いを通した検討の仕方などを一斉授業でしっかり指導しきれていないために、調べただけで終わったり、調べた資料の丸写しで終わったり、意見の出しっぱなしで終わったりする学習が見られた点。2点目は、教科の見方・考え方に触れさせるための指導者の教材研究や教材の準備が不十分であるためにその単元でつけていく力を十分につけることができなかつたという点である。

そこで今年度は、研究主題は継続とし、教科の見方・考え方に触れさせるために必要な教材研究や教材の準備を指導者が適切に行うことと全ての授業で学び方や調べ方、まとめ方、他者との話し合いによる意見の検討の方法などを児童に身に付けさせるための指導の工夫を行うことを加えることで、自律し、協働しながら学習を進める力を育成したいと考える。

## 2 研究仮説

教科の見方・考え方に触れさせるために必要な教材研究や教材の準備を指導者が適切に行い、全ての授業において、学び方や調べ方、まとめ方、他者との話し合いによる意見の検討の方法などを児童に身に付けさせる。そうすれば、自律し協働しながら学習を進めることができ、主体的に取り組む児童を育成することができるであろう。

### 3 研究内容

本年度の研究を推進するに当たり、次の研究内容を設定し具体的な方策を示す。

「個別最適な学び」の推進（自由進度学習・マイプラン学習・一斉指導）

#### ① 一斉指導の充実

- ・教科の見方・考え方に触れさせるために必要な教材研究や教材の準備を指導者が適切に行う
- ・全ての授業で学び方や調べ方、まとめ方、他者との話し合いによる意見の検討の方法などを児童に身に付けさせるための指導の工夫を行う
- ・単元構想シートの活用

#### ② 一斉指導での学びを生かした自由進度学習・マイプラン学習

- ・指導者と児童がゴール（めざす姿）を共有する。
- ・低学年：学習の手引きにそって自分の得意な学び方を見付けながら学習を進める  
高学年：自ら問いをたて、解決に向けて方法を模索しながら学習を進める
- ・一斉指導で身に付けた学び方や調べ方、まとめ方、他者との話し合いによる意見の検討の方法などを生かした自由進度学習・マイプラン学習を設定する。

#### ③ 総合的な学習の時間のグループ別探究，個人テーマ探究

- ・自分の学びを作る機会，自分の学びを見つめる機会を設ける

#### ④ 連続した学校と家庭の学び

- ・宿題は自分で計画を立て、充実できる姿に向けて（4年生段階で）
- ・予習，復習を自分の学びに位置付ける

### 4 本校が目指す授業

#### （1）本校が目指す児童像

「自律する」＝自分で考えて自分自身をコントロールできること

- ・低学年…次に何をするのか自分で考えて行動する
- ・中学年…自分に合った方法で最後まで粘り強く取り組む
- ・高学年…分かる，わからないを自覚し，自分に合った学び方で学び続ける

「協働する」＝同じ目的のために力を合わせて働くこと

- ・低学年…お互いに優しく声をかけ合って助け合う
- ・中学年…友達の意見を認め合いよりよいものにする
- ・高学年…他者の考えを取り入れて学びを高める

## (2) 本校が目指す授業像

全学年：ゴールを指導者と児童が共有し、自分の学びを適切に振り返る。  
低学年：学習の手引きにそって自分の得意な学び方を見付けながら学習を進める  
高学年：自ら問いをたて、解決に向けて方法を模索しながら学習を進める

### ① このような授業となるために、本校では次のように工夫を行う。

〈自由進度学習・マイプラン学習で必要な学習技能を一斉授業で意図的・計画的に指導〉

・教科の見方・考え方に触れさせるために必要な教材研究や教材の準備を指導者が適切に行ったり、全ての授業で学び方や調べ方、まとめ方、他者との話し合いによる意見の検討の方法などを児童に身に付けさせるための指導の工夫を行ったりするために、低・中・高学年ごとに協力して教材研究や教材の準備を行う時間を校内研修に位置付ける。

・単元構想シートの活用

〈一斉指導での学びを生かした自由進度学習・マイプラン学習の設定〉

・一斉指導で身に付けた学び方や調べ方、まとめ方、他者との話し合いによる意見の検討の方法などを生かした自由進度学習・マイプラン学習を設定するために、研究授業は、自由進度学習・マイプラン学習で必要な学び方を指導する一斉授業と一斉授業の学びを生かした自由進度学習・マイプラン学習の2つの学習形態の授業を各学年が行う。(単学級は、どちらかを選んで行う。)

〈学習スタイルの構築〉

- ・発表名人・聞き方名人・書き方名人を提示し、児童がどのような姿を目指せばよいかを明確にする。
- ・思考ツールを活用し、児童自ら思考の整理と可視化を促す。
- ・classroomを活用し、児童自身が情報収集をしたり、発信したりできる機会を増やす。  
高学年は、意見を交流する効果的な道具として活用する。
- ・授業の初めに自分でめあてを設定し、終わりにめあてに対する振り返りを行う。その時に、めあてが達成できた時もできなかった時もその理由を考えさせ、次の時間にどのようにするかを自分の言葉で書かせ、次時の学習に生かす。

### ② 生活科・総合的な学習の時間でのグループ別探究，個人テーマ探究

- ・生活科・総合的な学習の時間の単元計画を見直し，6年間を通して，ふるさと串戸への愛着を深めるような単元計画とする。
- ・各教科で培った知識・技能等を生かした，横断的な学びを展開させる。

### ③ 学校と家庭の連続した学び

- ・自学ノートに取り組み，自分のために学習を進めたり，友達とノートを見せ合ったりして，ノートに自分でまとめる力や自分にあった方法で工夫して学習を行う力を身に付ける。
- ・3年生以上は，予習，復習を自学に取り入れることで，自らの学びの深まりを実感させる。

## 5 研究授業での協議の柱

協議の柱	方法
① 学び方や調べ方，まとめ方，他者との話し合いによる意見の検討の方法など，児童に身に付けさせたい力を明確にして指導しているか。	研究授業での職員の見取り
② 一斉授業で身に付けた力が自由進度学習やマイプラン学習で生かされているか。	研究授業での児童の観察・分析

## 6 検証の指標

検証の視点	方法	検証の指標	達成目標
教科において児童の理解を深めることができたか。	廿日市市学力調査	個の児童の 経年変化	児童の前年度と比較し 通過率が上昇した児童 90% (3年生以上)

## 7 校内研修計画

授業提案は自由進度学習・マイプラン学習で必要な学び方を指導する一斉授業と一斉授業の学びを生かした自由進度学習・マイプラン学習の2つの学習形態の授業を各学年が行う。(単学級・たんぽぽ学級は，どちらかを選んで行う。)

公開研究会 低・中・高 各1本

中学校区 1本

授業提案のための教材研究と教材準備のための時間を年に3回行う。(この時間を使って，見直しをもって，計画的に行う。)

\*年間5回村田先生・山口先生をお迎えして研修を行う。

\*1回目の研究開きの時に村田先生・山口先生をお迎えして，理論研修を行う。①

\*1学期に自由進度学習・マイプラン学習で必要な学び方を指導する一斉授業を低・中・高，各1本ずつ3回行う。

\*夏休み(8月下旬)に公開研究会と中学校区の授業準備の研修を村田先生・山口先生をお迎えして行う。②

\*9月初めに自由進度学習・マイプラン学習で必要な学び方を指導する一斉授業を1本行う。

\*9月に中学校区の授業を自由進度学習・マイプラン学習で行う。

\*2学期に一斉授業の学びを生かした自由進度学習・マイプラン学習の授業を3回行う。(そのうち2回は村田先生・山口先生をお迎えして行う。③④)

\*3学期に一斉授業の学びを生かした自由進度学習・マイプラン学習の授業を公開研究会で村田先生・山口先生をお迎えして行う。⑤